

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1681 号

Expression of adipophilin in gastric epithelial neoplasia is associated with intestinal differentiation and discriminates between adenoma and adenocarcinoma

(胃上皮性腫瘍におけるアディポフィリンの発現は腸型分化に関連し、腺腫と癌を識別する)

具嶋 亮介 (ぐしま りょうすけ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、胃上皮性腫瘍における adipophilin の発現の頻度と発現様式をウィーン分類別に明らかにし、さらに腸型形質と adipophilin の発現の関連性を示したものである。今までに胃腺腫と胃癌の診断が各病理医の間で異なることがよくみられた。その理由としては胃腺腫と早期胃癌の形態学的相違が示されていないことが原因である。今回の研究では adipophilin の発現様式が腺腫と癌で違いを認めたことから、胃腺腫と早期胃癌の鑑別診断において上乘せ効果が期待できる補助的なマーカーとなりうる可能性が示唆された。また adipophilin の発現が腸型分化と関連することも合わせて示された。胃上皮性腫瘍は脂肪滴を吸収し、悪性度が強くなるにつれ吸収能が低下することが考えられた。

本論文の結果は胃上皮性腫瘍における adipophilin 免疫染色の発現と臨床病理学的特徴・粘液形質との関連を初めて明らかにした。さらにその発現様式が胃腺腫と胃癌の鑑別のマーカーとなることを初めて調べた臨床的に意義のある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。